

第21回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」議事録

■開催日時：令和8年5月11日（月）13：30～15：00

■開催場所：近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1F 共用会議室
（大阪府大阪府中央区大手前3-1-41）

■委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 特任教授）
野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）
◎深川 良一（立命館大学総合科学技術研究機構 招聘教授）
水草 浩一（国立研究開発法人土木研究所河道保全研究グループ 上席研究員）
◎印は委員長（50音順・敬称略）

■オブザーバー：滋賀県・京都府・大阪府・大阪広域水道企業団・阪神水道企業団

■議事概要：

委員会は委員5名の出席により、事務局から大戸川ダム建設事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

■大戸川ダム建設事業について

（委員の主な意見）

1. 事業概要（意見なし）
2. 事業の進捗状況
 - ・工事用道路については、ダム管理のための恒久的な利用を考慮し、手戻りのない形状としていただきたい。
3. コスト縮減項目（意見なし）
4. 本事業への助言
 - ・転流工については、他ダムの事例を含む多角的な視点を取り入れて検討を進めていただきたい。
 - ・ダム本体の基本構造などの見通しが立ってきたことを踏まえ、全体事業費や工期の精査を進めていただきたい。

■丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について

（委員の主な意見）

1. 事業概要（意見なし）
2. 事業の進捗状況（意見なし）
3. コスト縮減項目（意見なし）
4. 本事業への助言
 - ・事業全体を踏まえ、問題点や対応などの教訓を今後のために残していただきたい。

■その他の意見

- ・大戸川ダム建設中、今後のダム事業に資する新技術等の実証フィールドとして活用することも検討されたい。
- ・渇水リスクの高まりを踏まえ、過去に取りやめた利水の必要性について再検証することも検討されたい。

(以上)